地域の基幹病院として患者様の健康に役立つ情報を！

東京警察病院オリジナル広報誌

T.M.P.Hニュース

2017 Winter Vol.17

Tokyo Metropolitan Police Hospital News

CONTENTS

- 新年のご挨拶［院長・看護部］
- 医師コラム「薬を早く飲めば治る？ 誤解の多い「認知症」を正しく知る」
- 内視鏡センターの紹介
- クリスマスコンサート
- 東京警察病院看護専門学校戴帽式
- 区民健康講座のご案内
- 予防医学センターの紹介

新年あけましておめでとうございます。

新しい年が、皆様にとって健やかで希望に満ちた1年になりますことを、心からお祈り申し上げます。

さて、私共東京警察病院の願いは、常に地域に密着した急性期病院としての役割を全うするとともに、緊急時の災害拠点病院としての体制を準備、構築し、地域から“頼られる病院”としてのプレゼンスを確かなものにすることにあります。

その中で私共が最も大切に考えていることは、“安全かつ良質な医療の提供”にあります。この点につきましては当院ホームページの病院紹介（組織/委員会）の項を参照いただきますと、よくご理解いただけると思います。組織図にありますように院長の直属機関として、「感染制御対策室」および「医療安全管理室」を設置し、その実務にあたっております。そして実務内容につきましては、ホームページのトップに医療安全・感染対策の項目を設け、外部の方々が一目でアクセスできるよう設定をしております。具体的にはスタッフの紹介および業務内容、医療安全管理指針、感染対策指針などを掲示しております。また、当院の実績につきましては、数字で見る警察病院（臨床指標）のページに掲載しておりますので、是非ともご覧いただきたいと思います。

しかし、私共は現状に満足することなく、常にPDCAサイクルをフル回転し、改革に取り組んでおります。当院の理念は、“私たちは、医療の質の向上と患者さまの満足を目指し、日夜努力いたします”、にあります。本年も本理念を実践するために、全職員一丸となって一意奮闘して行く所存であります。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

院長 **白井 徹郎**

あけましておめでとうございます。

看護部

年末にカレンダーを架け替え、明けて表紙をめくるときは格別な期待感と身の引き締まる思いがいたします。いつもの23時59分から0時の一瞬を超えるときと、12月31日から1月1日に替わるときは何が、どのように違うのかをいつも考えます。「心新たに」「気持ちを入れ替えて」「今年こそは」など、決意を新たにする機会は大切なことなのではと思います。昨日が今日につながり、明日につながって、未来につながる。新しい何かに期待し、希望を持つ瞬間が日にちを跨ぐということなのでしょうか。

看護師は24時間365日、患者様とともに真夜中の時間を過ごしています。病める方々にとって夜は不安や恐怖心が増す時間であり、状況によっては夜が明けるのをひたすら待つ患者様やご家族の方がいらっしゃいます。「病める人や家族に寄り添い、不安や苦痛を取り除く手助けをする」それが看護職のコアな仕事です。時には患者様からのお叱りをいただくこともありますが、中には優しく話を聞き励ました看護師に対するお礼状をいただくことがあります。大変うれしく、仕事の活力につながるお手紙です。ありがたいことです。

今日や明日につなげる命の手助けを使命として、看護部理念である「あなたとあなたの大切な人を安心して託すことができるあたたかい看護を提供します」を胸に、新しい一年を過ごしてゆきたいと決意しております。

本年もよろしくお願い申し上げます。

東京警察病院
Tokyo Metropolitan Police Hospital

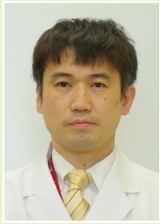
東京警察病院の頭文字「T」をモチーフに、3つの「意味」を込めてつくられました。

Thoughtful（ソートフル）……患者様の立場に立った医療を目指していきます
Technical（テクニカル）……医療レベルの向上に努めていきます
Trustworthy（トラストウォーシィー）……皆様の信頼に応えていきます

医師コラム

薬を早く飲めば治る？ 誤解の多い「認知症」を 正しく知る

認知症治療は、脳の機能と生活の質をできるだけ維持することが目的。薬物治療が有効なこともありますが、過度の期待は禁物で、薬以外にも目を向けることが大切です。



神経科 部長
古川　俊一

［専門領域］
精神科リハビリテーション／個人精神療法／リエゾン精神医学
［主な資格］
精神保健指定医／日本臨床心理士資格認定協会・臨床心理士／日本精神神経学会・精神科専門医／日本総合病院精神医学会・一般病院連携精神科専門医／日本医師会 産業医

【期待が大きい抗認知症薬による治療開始時期は慎重に判断を】

認知症は早期発見が重要？

認知症には、脳に異常タンパクが蓄積して脳が萎縮する「アルツハイマー型認知症」、幻視や歩行障害を伴う「レビー小体型認知症」、脳卒中などの病気によって発症する「脳血管性認知症」などさまざまな種類があります。その中には、脳脊髄液が脳を圧迫して起こる「正常圧水頭症」のように、治療すれば治る認知症も存在します。治る認知症を見逃さないよう、早めに受診するのはいいことです。

しかし、「早期発見して薬を飲めば認知症は治る」というのは、必ずしも正しくありません。残念ながら今のところ、脳の萎縮を止めたり、もの忘れを治せる薬は存在しません。

認知症の薬について教えてください

抗認知症薬は現在４種類あり、アルツハイマー型認知症とレビー小体型認知症に用いられています。薬には弱っている脳の働きを一時的によくしたり、脳細胞を保護する働きがあります。ただし、誰にでも目に見えて効果があるわけではありません。

患者さんのご家族から「薬を飲んでいるのに変化がない」といわれることは少なくありません。しかし、放置すれば脳の機能は徐々に低下していくので、変化がないということは、薬が効いている可能性があります。服用をやめると認知症の症状が悪化してしまい、「やっぱり薬は効果があったんだ」と納得されることも多いです。

薬は早い段階で飲み始めた方がいいのですか？

「使い始めるのが早ければ早いほど薬の効果が出やすい」とも一概にはいえません。薬は永続的に効くわけではないですし、不整脈、吐き気、イライラ、怒りっぽくなるなどの副作用が出ることもあります。薬には必ずメリットとデメリットがあります。デメリットのほうが大きい軽度の段階で副作用を我慢して、生活の質を落としてまで服薬するのかについては、慎重に判断すべきです。

【治療は薬物療法だけではなく、飲んでいる薬と生活の見直しも重要】

病院を受診したのに、薬が処方されない場合も

たとえ抗認知症薬を使っても、毎日ずっとテレビの前に座ったままの生活では、やはり脳の機能は低下してしまいがちです。薬を試す前に、生活習慣の見直しなどいくつかやるべきことがあります。

やるべきことの一つに、現在飲んでいる薬の見直しがあります。高齢者は糖尿病や高血圧、高脂血症といった何らかの薬を複数処方されていることが多く、そこへさらに抗認知症薬を足してしまうと、副作用などのトラブルの可能性が高まります。また、睡眠薬や抗不安薬を常用している人は、薬をやめるだけで、認知症の症状が改善することもあります。医師とよく相談してください。

薬は、飲んだり飲まなかったりでは効果が期待できませんから、一人暮らしなどで薬の管理が難しい患者さんには処方しないこともあります。老人ホームなどに入居し、きちんと薬を飲めるようになると、症状が安定する人もいます。

生活習慣の改善で本当 によくなりますか？

運動、血圧や血糖値の管理、食事を工夫することが認知症への進行を抑えることがわかっています。「努力は報われる」というのが、最近の認知症治療や予防の考え方です。

【介護の方へ】

避けたほうがよいもの
- 急がせる
- 出来るのにさせない
- 途中でやめさせる
- 無理強いする
- 無視して、放っておく

認知症の方が求めているもの
- その人らしさ
- 携わること
- 仲間に入りたい
- きずな
- 安定性

内視鏡センター紹介

副院長・内視鏡センター長 **大島 秀男**　　消化器科部長 **小椋 啓司**

内視鏡センターは1階Cブロックに位置し、上部消化管内視鏡、下部消化管内視鏡、胆道・膵臓内視鏡検査を行っています。消化器内視鏡専門医の指導・監督の下に消化器科および外科の医師が検査・治療を担当しています。

検査の対象となる疾患は上部消化管（胃がん、食道がん、胃・十二指腸潰瘍、慢性胃炎、逆流性食道炎 など）、下部消化管（大腸がん、大腸ポリープ、大腸憩室症、炎症性腸疾患、腸炎 など）、胆道・膵臓（胆道がん、膵がん、胆石、胆のう炎、胆管炎、膵のう胞 など）と多岐にわたります。これらの疾患の一部は、検査のみではなく、内視鏡センターで治療も行っているものがあります。従来は開腹手術が標準治療であったものも、内視鏡技術の進歩や医療機器の改良により、内視鏡手術の対象となる疾患が広がっています。具体的には早期の胃がん・食道がん・大腸がん、消化管出血、胆管結石、胆道閉塞などが適応となることがあります。内視鏡治療により、患者様の身体的・経済的・時間的負担を軽減することを目指しています。

当院での消化器内視鏡検査件数は、年々増加しており、平成27年度には上部消化管内視鏡7,094件、下部消化管内視鏡4,225件、胆道膵臓内視鏡257件を実施しています。

当センターでは、すべての看護師が消化器内視鏡技師資格を取得済みもしくは取得準備中であり、安全に質の高い検査・治療が行えるように検査機器の管理、検査の介助、患者様の看護などの業務を行っています。検査への不安・心配などありましたら、遠慮なくご相談ください。また、内視鏡センター全員で安全で苦痛の少ない内視鏡検査を提供できるよう努力しておりますので安心して受診してください。

クリスマスコンサート

12月15日(木)、午後5時30分から当院1階ロビーにおいて、患者様、ご家族のみなさんに癒しのひと時をお過ごしいただくため、毎年恒例の院内クリスマスコンサートを開催致しました。今年は、警視庁音楽隊が約40分間にわたり、クリスマスソングメドレーなど素敵な演奏を行いました。

平成28年11月28日(金)、東京警察病院看護専門学校の2年生41名が戴帽式を迎えました。

当日は、病院関係者、保護者等多くのご出席者が見守るなかで式が始まりました。

学生はひとりずつ壇上でナースキャップを戴き、火を灯したキャンドルを手に、全員で「これまでの感謝」を述べ、「これからの努力」を誓いました。

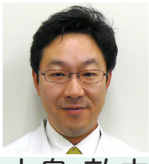
そして当院の中三川看護部長が「ナイチンゲールのように患者様一人ひとりに眼差しを向けて護り、新たな苦痛を与えることのないように技術を磨いて欲しい」と、今後の学びの方向を示す言葉を述べました。式の直後に開催された保護者会では「厳かな雰囲気での式典でした。本格的な実習はこれからですが、ここまで成長した子どもの姿に胸がいっぱいになりました」と声を詰まらせて話す方をはじめ、多くの方々のお気持ちを伺うことができました。戴帽式を終えた2年生は、同年12月から実習に臨んでいます（実習は、2年次後半から卒業までの1年半で、看護領域別に全9クールあります）。

区民健康講座のご案内

地域の皆様を対象に医療の様々な分野と健康の知識について当院の医師がわかりやすく解説する健康講座を開催しています。

第79回 1月28日(土)

テーマ 関節リウマチの最新治療・今後の課題



膠原病リウマチ科 部長 中島 敦夫

第80回 2月25日(土)

テーマ ロコモティブシンドローム
～いつまでも元気で歩くために今からできること～

整形外科 副部長 西原 洋彦

第81回 3月25日(土)

テーマ 近年増加している肺の感染症
～非結核性抗酸菌症～

※開催時間15:00～16:00　呼吸器科 医長 岡林　賢

講演後には、皆様からのご質問も承ります。
たくさんの方のご参加を心よりお待ちしております。

受講料 無料

◆時　　間：10:30～11:30(開場10:20)
◆場　　所：東京警察病院　9階　大会議室
◆参 加 申 込：経営企画課へお申し込み下さい。
①電 話：TEL 03-5343-5611(内線14552)
受付時間:8:30～17:00（日曜・祝日除く）
②FAX：ホームページよりFAX用紙を印刷頂き送信して下さい。
FAX 03-5343-5612

※電話番号・FAX番号をお確かめのうえ、お間違えのないようお願いいたします
＊各回とも定員になり次第、締め切りとさせて頂きます
＊当日、お車の方は病院の駐車場をご利用下さい(30分/100円)

参加者の声　●次回の講座が楽しみ　●様々なテーマを開催してほしい　●初めて知った内容があり、有意義だった　●専門の医師の話が聞けて良かった　●医療技術の進歩が分かり、希望が持てた　●月に1度ではなく、講座を増やしてほしい

過去に開催されたテーマ　●大腸癌について　●感染症～ヒトからうつる病気、動物からうつる病気～　●狭心症、心筋梗塞の治療と予防　●膀胱がん～診断と治療の最前線～　●人工股関節～痛みなく歩く～

予防医学センターの紹介

病気の早期発見と予防のため、充実した医療機器と経験豊富なスタッフによる高度な検査を提供いたします。また、病院併設型ドック機能によるフォローアップ体制が充実しています。

基本コースの流れ（所要時間約4時間30分）

受付(8:00) → 身体測定 → 血液・尿検査 → 血圧・脈拍測定 → 眼科検査 → 聴力検査 → 呼吸機能検査 → 心電図検査 → 腹部超音波検査 → 診察 → 胸部X線検査 → 上部消化管検査 → 結果説明 終了(およそ12:30)

オプション検査(基本コースを受診し、事前にご希望された方)

※検査の順序は、状況により前後します。

コース料金

基本コース　54,000円(税込み)

＊その他コース、オプションを多数ご用意しております。
詳細は予防医学センターまでお問い合わせください。

ご予約・お問合せ先
予防医学センター(9階)
受付時間／月曜日～土曜日　10:00～16:30
電話番号／03-5343-5750(直通)

診療のご案内

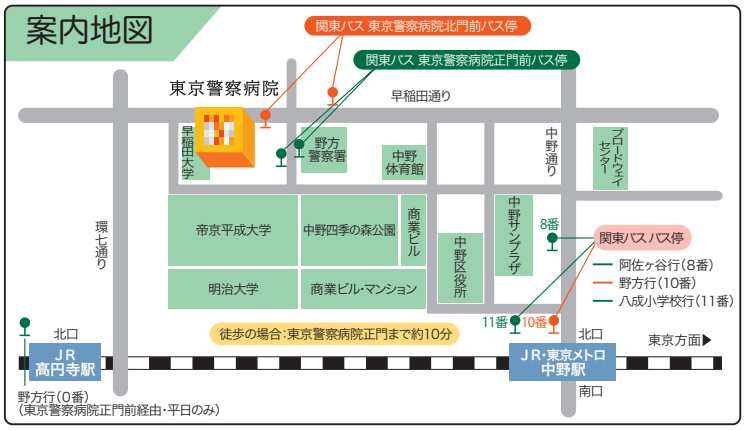
受付時間　月曜日～土曜日　午前 8:00～11:30　午後12:30～16:00
■ 自動再診受付機 稼働時間……7:30～16:00
■ 自動入金機 稼働時間……8:30～17:00
※防災センター自動入金機：24時間稼働

■ 休診日：日曜日・祝日・年末年始(12/29～/1/3)

レストラン「憩」
9F
営業時間：7:30～18:00

ナチュラル・ローソン
1F　ATMあり
営業時間：6:00～21:00

案内地図



P 屋外駐車場 119台 一般料金：200円/30分 受診者料金：100円/30分

理念

私たちは、医療の質の向上と
患者さまの満足を目指し、日夜努力いたします

基本方針

●私たちは、患者さまの権利と意志を尊重し患者さまの立場に立った医療を実践します
●私たちは、常に医療モラルと医療レベルの向上に努め、良質で信頼される医療を提供します
●私たちは、地域の皆さまの信頼のもと、地域医療の発展に貢献します
●私たちは、医療を通じて職域をサポートし社会の安全に寄与します
●私たちは、患者さまが安心して療養に専念していただけるよう、健全な経営を推進します

患者さまの権利と責務

●**基本的権利**
良質で安全な医療を、等しく受けることができます

●**情報を得る権利**
十分な説明と情報提供を受けることができます

●**自己決定と選択自由の権利**
自己の意志に基づき、治療を選択すること、あるいは拒むことができます

●**情報保護の権利**
個人の医療情報ならびにプライバシーは、保護されます

●**責任と義務**
他の患者さまの診療、ならびに医療従事者の業務を妨げるような行為は、慎んでいただきます

〒164-8541 東京都中野区中野4丁目22番1号　電話番号：03-5343-5611(代表)
発　　行：東京警察病院 経営企画課
編集制作：有限会社タイム商品研究所